

# 【**嚴重警戒!**】

## ジャンボタニシが確認されました! 特徴や対策を覚えておきましょう!

太田・足利など近隣地域では以前から確認されていたジャンボタニシ（スクミリンゴガイ）が邑楽館林管内で初めて確認されました。ジャンボタニシは**田植え直後の苗の食害により甚大な被害をもたらす重点対策外来種に指定されています**。繁殖力が高く、今後生息域が拡大する懸念があります。特徴や対策を覚えておきましょう。



ピンク色の卵（株元、用水路）、成貝と500円玉

食害されたほ場

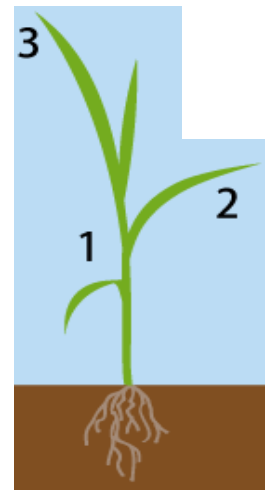
### 【特徴】

- ・500円玉よりも大きく（2～7cm）、動きが早い
- ・ピンク色の特徴的な卵を産む

※卵には毒があり、成貝には寄生虫がいるので  
**素手で触れないで下さい!**

### 【対策】

- ①発生したほ場から移動する際は泥をしっかりと洗い落とす。
- ②3.5葉を超える苗であれば、稲体が固くなり食害の軽減が見込める。
- ③浅水で管理するとタニシの行動を制限できるので、水田内での被害拡大が防げる。



3.5葉期苗